

# 小学校6年授業実践例

## 音楽科学習指導案

平成24年10月 5日(金)～11月 6日(火)

### 1 題材名 箏で鎌倉のマイテーマをつくろう

(教材名) 音楽づくり 「鎌倉のマイテーマ」  
参考曲 「汽車ごっこ」 宮城 道雄 作曲

### 2 考察

#### (1) 題材観

本題材は、以下の学習指導要領第5学年及び第6学年の内容によるものである。

- |   |
|---|
| A 表現(3)<br>ア いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること<br>イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること<br>〔共通事項〕<br>ア (7) 音色、リズム、旋律、強弱、速度、フレーズ<br>(4) 反復、変化 |
|---|

本題材は、音楽づくりを通して思いや意図をもって表現できることを目指す題材である。まず、音楽の感受から発想をし、自分なりに表現していくことで、主体的な表現の方法を探求する活動ができる。その中で、試行錯誤しながら思いや意図をもって表現する力が育ち、表現する喜びを味わいながら活動を深めていけると考える。思いや意図をもつとは、自分なりに表現することから意欲を喚起し、表現の方法に見通しをもつことであり、主体的な表現をするために、大切な指針となる。さらに、「はばたく群馬の指導プラン」においても「音楽の要素を手掛かりにした音楽づくり」で見通しをもった音楽づくりの資質を伸ばすことを求めているとあり、思いや意図をもって表現する力を育てることは、群馬の子どもがもつ、感じ取った曲想を表現につなげるなどの課題解決にもなると考える。

本題材で扱う音楽づくりは、歴史や自然がつくり出した情緒豊かな鎌倉の街をテーマにして、自分なりの音や音楽をつくり上げようとするものである。修学旅行で訪れる鎌倉の街について感性豊かに即興的に表現したり、箏の特性を生かした旋律づくりをしたりする。景色の中で聴こえる音について〔共通事項〕の速度や強弱、音色に着目して発想し、即興的に表現することで、思いをもつことができる。また、その景色の中にいたらどんな心情が生まれるかについて、どの弦を使って表現するか、どんなリズムや速度で表現するかについて試行錯誤していきながら、見通しをもって作品を仕上げていくことができる。さらに、景色の中で聴こえる音や生まれる心情について発想したことを言葉に表し、音楽づくりに生かすことは、言語活動の充実にもつながる。

箏は、13本の弦を多様な奏法で撥音し、「弾く」「はじく」「押す」「こする」など、創造豊かに演奏でき、自由な発想で表現する方法を探求できる楽器である。また、簡単に撥音できることから、思いや意図を音や音楽で表現しやすい。参考曲「汽車ごっこ」は、活動の導入で聴く活動として取り入れる。叙景豊かな演奏表現を提示することで、子ども主体で箏の特性に気づき、既習の奏法だけでなく多様な奏法を探求するために生かせると考えた。

以上のように、音楽づくりの指導において、思いや意図をもって表現する力を育て、見通しをもって主体的に表現できる子どもを育てるために、本題材を設定した。

#### (2) 子どもの実態 (略)

### 3 題材の目標

箏の特性を味わったり、探求したりする活動を通して、それぞれの思いや意図を表現に生かしながら、鎌倉のマイテーマをつくる。

### 4 授業中における生徒指導

○箏の多様な奏法を探求し、よりよい作品をつくるために、学習過程で適切な技能や表現の方法を示すことで、学習の流れが明確になり、自分の発想のよさに気づき、作品をさらによくしようと意欲をもつことができる。

- グループ活動で表現の方法を工夫する場を設けて、適切な支援を与えることで、試行錯誤をしながらよりよい作品をつくり上げるまで、見通しをもって主体的に取り組もうとすることができる。
- 友だちと意見交流をして、よりよい作品をつくらうとする過程で、他者理解を深め、つくり上げる喜びを共有しながら、グループ活動の質を向上させようとする事ができる。

5 指導と評価の計画（6時間予定） ●は、研究にかかわる学習活動

		評価規準		
		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
		① 箏の多様な奏法に気付き、それを生かして鎌倉のマイテーマをつくる活動に主体的に取り組もうとしている。 ② 作品をつくり上げる過程で、グループで試行錯誤や意見交流をしながら、作品をつくらうとしている。 ③ 作品をつくる活動のよさを振り返りながら、作品や言葉で発表したり、聴いたりしている。	① 箏の音色をとらえて、思いや意図をもって、効果音をつくるために自分なりの奏法を工夫している。 ② リズム、速度、強弱に着目して、よりよい旋律ができるように、自分の思いや意図を生かして表現の工夫をしている。 ③ 反復、変化に着目しながら、旋律をどうつくるかについて、思いや意図をもって表現を工夫している。	① 多様な奏法を探りながら、テーマに即した効果音をつくっている。 ② 音楽の仕組みを生かし、見通しをもって旋律をつくり、グループ演奏をしている。
過程	時	主な学習活動	指導上の留意点及び支援	評価 関 創 技
感じる	1	◎ 箏の音色の特性をつかみ、鎌倉の街の効果音を箏で即興演奏する。 ○ 情景を思い浮かべながら「汽車ごっこ」を聴いて箏の音色を味わう。 ● 鎌倉の街の情景を思い浮かべ、効果音や旋律づくりをするために基になる音や心情を考える。 <b>活動の12ステップ</b> ① 感受 ② 発想	○ 箏を使って音楽づくりの学習をするために、既習の奏法を思い出し、多様な奏法と比較して聴けるようにする。 ○ 曲から思い浮かぶ情景をワークシートに言葉や絵で表し、意見交流ができるようにする。 ○ 鎌倉の街の「街並み」「江ノ電」「寺」「山道」「海」の景色をマイテーマとして音や音楽で表すために、鎌倉の街の写真、ビデオを提示して素材音やそこから感じる気持ちを想像できるようにする。 ○ 自分たちのグループが選択した景色の中について話し合うことで、マイテーマをつくるために活動の見通しがもてるようにする。 ○ グループで決めた景色に合うように、箏の調弦の特性を感じ取って平調子と楽調子の音階を選択できるようにする。	①
	2	○ 常時活動の同音リレーをする。 ○ 箏の音色の特性を感じ取り、多様な奏法を探求する。 ● 鎌倉の街の音を基に箏で効果音をつくる。 ○ グループで、それぞれの効果音を聴き合う。 <b>③ 即興 ④ 聴き合い</b>	○ 4人グループで箏を2面ずつ使用して、曲構成図を基に意見交流をしながら活動をし、協力しながら作品を作り上げるようにする。 ○ 箏の五弦、七弦で同音リレーをして基本的な弾き方を復習できるようにする。 ○ 前時に鑑賞した音からどんな奏法があるかを予想して、意見交流をしながら多様な奏法に気付くようにする。 ○ 発想から生まれた自分なりの奏法とグループで選択した景色の音をかかわらせて、2～4拍ぐらいの効果音をつくれるようにする。 ○ 同じグループの4人組で、互いの発想やできあがった効果音を味わって箏の自由な演奏表現に慣れるようにする。	① ①
つなげる	3	◎ 箏で鎌倉のマイテーマの音楽づくりをする。 ○ 常時活動の七五三リレーをする。 ● 各自が八拍の旋律をつくる。 ○ グループ内で旋律を発表し合う。 <b>⑤ 構成</b>	○ 箏の三、五、七弦で音楽づくりをして、旋律をつなげて演奏する。 ○ マイテーマに沿って、自分の思いを表すような旋律がつくれるように、拍子、速度、強弱など「音楽のもと」を提示して、効率よく旋律がつくれる支援をする。 ○ フラッシュカードを基に曲構成図に話し合った内容を記録して、効率よくあらすじがつくれるようにする。 ○ 一人一人がつくった旋律をワークシートに弦番号で記録し、音楽づくりに集中しやすいようにする。 ○ グループ内で、互いにつくった旋律を発表し合い、その説明や曲想から思いや意図を読み取れるようにする。	②
	4	○ 常時活動で七五三リレーをする。 ○ 曲の構成について、方法を知る。 ● 効果音と旋律を基にグループの作品をつくる。 ● 反復練習をする。 <b>⑥ 試行錯誤 ⑦ 意見交流 ⑧ 言葉</b>	○ 箏の三、五、七弦で音楽づくりをして、旋律をつなげて演奏する。 ○ 友だちがつくった効果音や旋律を例に、あらすじとのかかわり方、曲の構成の仕方について、見通しがもてるようにする。 ○ 作品のあらすじに併せて4人の旋律をどのようにつなげるかについて、「音楽のもと」を基に試行錯誤しながら考えられるようにする。 ○ 旋律のつなげる順番や、反復などの音楽の仕組みが工夫できるように、机間支援をしながら助言をしていく。 ○ グループの作品のあらすじに合う効果音を作品への思いを深めながら、効果音を入れる場所を検討できるようにする。 ○ 効果音と旋律の構成が決まったら、強弱、反復を確認しながら、練	② ③

		習をする。			
深める	5	<p>◎それぞれのグループの作品を伝え合い、聴き合う。</p> <p>○常時活動で、七五三リレーをする。</p> <p>●発表会をする。</p> <p>○他グループのよさを認め合う。</p> <p>⑨習熟 ⑩伝え合い ⑪認め合い</p>	<p>○箏の三、五、七弦を2回反復してつなげていながら、親指で箏を弾く手の慣らし練習をする。</p> <p>○作品のあらすじを説明してから発表演奏をすることで、思いや意図を伝えられるようにする。</p> <p>○他のグループのあらすじを手がかりにして、その意図やよさを感じ取ってワークシートに記述する。</p> <p>○ワークシートの記述を基に、友だちの頑張りや表現の面白さなどを発表して活動のよさを認め合えるようにする。</p>	③	②
	6	<p>○常時活動で七五三リレーをする。</p> <p>○後半の発表会をする。</p> <p>●抜粋したビデオを視聴して、活動を振り返る。</p> <p>⑪認め合い ⑫振り返り</p>	<p>○箏の三、五、七弦を2回反復してつなげていながら、速度や旋律の終止形を意識して、本題材の活動を振り返るようにする。</p> <p>○聴く立場と発表する立場の両方から後半の発表会に参加して、作品をつくり上げる過程を振り返るようにする。</p> <p>○練習場面や発表をビデオで視せ、つくる過程の大切さや成就感を感じ取れるようにする。</p> <p>○ビデオから「音楽のもと」を手がかりに、曲を構成している要素をふまえて活動する大切さに気付けるようにする。</p>	③	②

## 6 本時の学習指導 (1 / 4 時間目)

### (1) ねらい

箏の多様な奏法を基に、鎌倉の景色で聴こえてくる音やそこから感じる心情などから、マイテーマにつながる言葉を考えることを通して、活動の見通しをもつ。

(2) 準備 フラッシュカード、ワークシート1、CD、箏1面、パソコン、プロジェクター、「音楽づくりハンドブック」

### (3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
<p>○情景を思い浮かべながら「汽車ごっこ」を聴いて箏の音色を味わう。</p> <p>○箏の奏法を予想して、多様な奏法に気付く。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>本題材で箏を使って音楽づくりの学習をすることを知らせ、5年の時に学習した箏の奏法を思い出せるように、奏法に着目して聴けるようにする。</li> <li>参考曲から汽車がどんな場所をどのように走っているかを想像して、旋律から感じ取れる情景を言葉で表して意見交流できるようにする。</li> <li>聴いた音から、どのように箏を弾いているのかを予想し、教師が箏で再現するなどして、箏に多様な奏法があることに気付けるようにする。</li> </ul>
<p>●鎌倉の街の情景を思い浮かべ、街の音を効果音で、そこにいる人の気持ちを旋律づくりで表す計画を立てマイテーマを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街の音を完全に再現するのではなく、それをきっかけとして、自分なりのイメージの物語をつくっていくんだよ。</li> <li>グループで物語を作るということは、自分の意見だけでなく友だちの意見も織り交ぜていくといいね。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される子どもの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○○の景色でやりたいんだけど、友だちと意見が合わないな。</li> <li>箏で演奏しやすい景色を考えよう。</li> <li>どうしたら、グループの意見がまとまるかな。</li> </ul> </div>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉の街について情景を音や音楽で表すことを知らせて、「街並み」「江ノ電」「寺」「山道」「海」について聴こえてくる音やその中に存在する自分の心情について予想を立てて、自分の鎌倉のイメージからマイテーマをつくりやすくする。</li> <li>学級で、五つの題材の景色に、どんな音が存在するのかを想像しやすいうように、鎌倉の街の写真やビデオを提示して、ワークシートに自分の思いがまとめられるようする。</li> <li>曲構成図を例示して、マイテーマは、鎌倉の街の景色で予想される音を効果音で、そこに存在する自分の心情を旋律でと、2種類の音楽づくりの見通しがもてるようにする。</li> <li>グループごとに1～2の景色に絞って話し合い、そこに存在する心情を考え、マイテーマをつくるための見通しがもてるようにする。</li> <li>グループの意見交流でマイテーマを効率よく決定するために、話し合いの折り合いが付くように、助言をする。</li> <li>グループで「曲づくりに使う景色」「街で聞こえる音」「街で感じる気持ち」を考えて、フラッシュカードに記録し、活動の見通しがもてるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>関① 箏の多様な奏法に気付き、それを生かした活動に見通しをもっている。(ワークシート、行動観察)</p> </div>
<p>○ワークシートに話し合った内容を記述し、次時の学習を知る。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループが選んだ鎌倉の景色、その場面で予想される音、そこにいる人の心情について記述して、次時に箏で効果音を即興演奏することを知らせる。</li> <li>グループで決めた題材に合うように、箏の調弦の特性を感じ取って平調子と楽調子の音階を選択できるようにする。</li> </ul>

## 6 本時の学習指導 (2/4時間目)

### (1) ねらい

箏の音色の特性をつかんで自分なりの奏法を探る中で、鎌倉の街の効果音をつくって即興的に表現することができる。

### (2) 準備

フラッシュカード、ワークシート1、鎌倉の風景写真、箏15面、爪、曲構成図、「音楽づくりハンドブック」

### (3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
○常時活動の同音リレーをする。 発問例 ・箏に対して斜め45度で正座をがんばろう。 ・選んだ音階によって微妙な響きの違いに気付くかな。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が示す拍子に併せて巾〜弦へ連続した音をリレーして、親指の弦への当て方を復習する。</li> <li>七弦や四弦で同音リレーをしながら楽調子と平調子のグループの響きの共通点に気付けるようにする。</li> <li>親指を弦に当てる角度や、座る姿勢など、「音楽づくりハンドブック」を参考に指導をして、基礎的な技能を確認できるようにする。</li> </ul>
○箏の音色の特性を感じ取り、多様な奏法を探求する。 ●鎌倉の街の音を基に、同じ箏を使う二人組で、話し合いながら効果音づくりをする。 発問例 「遮断機の音」 ・速さは？音の長さは？音の高さは？などと音をいろんな条件で分けて分析しよう。 予想される子どもの反応 ・はねる感じがする。速度が変わる。 ・普通に弾いていない音がある気がする。 ・弦をこすったり、たたいたりして音を出している。 ・弦を押すと音程が変わる。	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲構成図に提示した基になる音から、グループで分担して「音楽のもと」に着目して、見通しがもてるようにする。</li> <li>「遮断機」の音を例にして、カタカナ音や音色、強弱、速度など音の雰囲気进行分析して、音の特徴が箏で表現できるようにする。</li> <li>つくりたい効果音について、どのように音を出すかを弦番号など具体的にワークシートに記録して、意図をもって効果音づくりができるようにする。</li> <li>鎌倉の風景写真を提示しておき、その中の音の雰囲気を視覚的にも味わえるようにしておく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             創① 箏の特性に着目して、自分なりの奏法で効果音を即興的に表現している。(演奏観察、ワークシート)           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">             技① 多様な奏法を探りながら、テーマに即した効果音をつくっている。(演奏観察、ワークシート)           </div>
○グループで、それぞれの効果音を聴き合う。 ○次時の予告を聞く。	10  5	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ箏を使う二人組、同じ作品をつくる四人組で、互いの発想やできあがった効果音を味わい、グループとしての効果音を共有できるようにする。</li> <li>個人旋律図を提示して、8拍の旋律をつくること、基になる景色から感じる気持ちをテーマにすることを説明を聞き、次時の活動の見通しをもつ。</li> <li>グループとして、基になる気持ちを精選して、旋律づくりが効率よく行えるようにする。</li> </ul>

### (4) 板書計画

**箏で鎌倉のマイテーマをつくろう**

箏の音の出し方

弾く
押す
はじく
こする
トレモロ

効果音

景色から  
感じる音

景色から  
聴こえる音

音色

カンカンカン

リズム

強弱

しゃ断機

速度

分析したことからアイデアを出してみる

まとめること

音の出し方

使う弦

## 6 本時の学習指導 (3/6時間目)

### (1) ねらい

箏の特性を感じ取って試行錯誤をしながら、鎌倉の景色から感じる心情を基にした旋律をつかって、記録したり、演奏したりする。

(2) 準備 フラッシュカード、鎌倉の風景写真、ワークシート2、曲構成図、箏15面、爪、ホワイトボード、「音楽づくりハンドブック」

### (3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
○常時活動の同音リレーをする。	10	・箏の四、七弦で4拍ずつの同音リレーをして基本的な弾き方を復習できるようにする。
<p>●各自が8拍の旋律をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作品をつくる発問例 (「音楽のもと」参照)</p> <p><b>1 音符</b> 「○に音符を一つずつ入れてみよう 「○の音を増やしたり、●で休符にしたりしよう」</p> <p><b>2 拍子</b> 「4拍子でひとまとまりで2小節つくろう」</p> <p><b>3 音階</b> 「選んだ風景の雰囲気はどんなかな」 「四～十弦ぐらいが弾きやすいよ」 「7弦を中心に」</p> <p><b>4 リズム</b> ○に二つ音を入れるとリズムが細くなる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>予想される子どもの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○に一つずつ音を入れればいいんだよね。</li> <li>・リズムを細かくしてもいいかな。</li> <li>・こっちの音の方が雰囲気が合うよ。</li> <li>・何弦の弦を弾いたか、記録しておこう。</li> </ul> </div>	10	<p>・親指を弦に当てる角度や、座る姿勢など、「音楽づくりハンドブック」を参考に指導をして、基礎的な技能を確認できるように「さくらさくら」を復習で弾く。</p> <p>・弦番号で旋律が構成されていることを参考に、旋律のつくる手順を聞いて、効率よく旋律がつけられるようにする。</p> <p>・マイテーマに沿った自分の思いを表すような旋律をつくれるように、音階、速度、強弱など「音楽のもと」を提示して、つくる手順を伝える。</p> <p>・二人組のうち、一人が箏を使う時は、もう一人は聴きながら、弾いている弦番号を記録する、客観的な意見を言うなど、互いに意見交流をしながら、旋律をつくり上げていく。</p> <p>・各自がつくった旋律は、個人旋律図に記入して、グループの話し合いで曲構成図に提示できるようにする。</p>
<p>○グループで、それぞれの二人組がつくった旋律を聴き合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>予想される子どもの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風景の中にある気持ちわかるよ。</li> <li>・マイテーマは、ゆったりとした気持ちで演奏した方がいいよ。</li> <li>・工夫したところがわかるよ。</li> </ul> </div>	10	<p>・グループで、互いにつくった旋律を発表し合い、その説明や曲想から思いや意図が読み取れるようにする。</p> <p>・友だちがつくった旋律について、工夫していると感じた点を見付けたり、もっと工夫できそうなことを意見交流したりして、活動を深められるようにする。</p> <p>・演奏する速さは、ゆっくりと速くなど、旋律の雰囲気に合った演奏ができるようにする。</p> <p>・次時に、4人の旋律をつなげることを念頭に、工夫できることはどんなことかを話し合う。</p>

### (4) 板書計画 (ワークシートに基づく)

#### 箏で鎌倉のマイテーマをつくろう

箏の音の出し方

弾く
押す
はじく
こする
トレモロ

オリジナルの  
せんりつ

景色から  
感じられる気持ち

**拍子** 4つひとまとまりでつくる

**音符と休符** ○に音を1つずつ●は休符

**音階** 七弦を中心につくる。近くの音に移動する。

**リズム** ○に音を2つ入れるとリズムが細くなる。

**終わり方** 一、五弦で終わると終わる感じになる。

#### 曲構成図

 (模造紙)

鎌倉のマイテーマをつくろう ○班

**基になる景色**

**効果音**

**せんりつ**

**あらすじ**

あらすじの文章  
基になる気持ちや音を使って短文をつくる

○○○○○○○  
どんな気持ち

つくった人

## 6 本時の学習指導 (4/6時間目)

### (1) ねらい

各自がつくった効果音や旋律を組み合わせるために、グループで試行錯誤しながら話し合いをして、よりよい作品になるように表現の工夫をすることができる。

### (2) 準備

フラッシュカード、ワークシート2、曲構成図、マジック、筆15面、爪、「音楽づくりハンドブック」

### (3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
○常時活動で七五三リレーをする。	5	・箏で三、五、七弦を使って四拍の旋律をつくり、リレーで旋律をつなげようとしながら、音楽づくりの活動に慣れる。
●メンバーがつくった旋律を確認しながら、旋律をつなげる。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律を何人かが発表することで、終止形や曲想を考えて曲を構成していくこと、強弱、速度や反復を工夫することなどについて、活動の見通しがもてるようにする。</li> <li>・あらすじに合わせて4人がつくった旋律を聴き合い、どの順番につなげるかを考えられるようにする。</li> <li>・「音楽のもと」を参考に音楽の仕組みの反復や終止形について考え、曲を構成できるようにする。</li> <li>・曲構成図に決定した旋律の順番に各自の旋律を掲示し、作品の全体を見通せるようにする。</li> <li>・曲を構成する話し合いが効率よく行えるように、机間支援をしながら、活動のよさを賞賛したり、紹介したりする。</li> </ul>
<p>予想される子どもの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律は、あらすじの文章と合うかな。</li> <li>・○○より△△の旋律を先にした方がいいよ。</li> <li>・どんな理由でこの順番にするの？</li> <li>・この旋律を繰り返したらどうなるかな。</li> <li>・この旋律を何人で演奏するかな。</li> </ul>		<p>関② 作品をつくり上げる過程で、グループで試行錯誤や意見交流をしながら、作品をつくろうとしている。(話し合い観察)</p>
●鎌倉の情景を思い浮かべて、つなげた旋律に効果音を入れて、強弱や速度を工夫して練習をする。	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなげた旋律をあらすじと関連して考えることで、曲の冒頭、中間、最後のどこに効果音を入れるかを、試行錯誤しながら考えられるようにする。</li> <li>・効果音を入れる場所が決まったら、曲構成図に書き加えて、グループで意見を共有できるようにする。</li> <li>・効果音加わった上で、旋律を全員で演奏する部分と人数を減らして演奏する部分を考えるなど、表現の工夫が深まるよう助言をする。</li> <li>・話し合いがうまくいっているグループの演奏を聴いて、そのよさを認め、自分たちの演奏の参考にできるようにする。</li> </ul>
<p>予想される子どもの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この効果音は、最初に入れるより途中の旋律の区切れのところで入れた方が感じが出るよ。</li> <li>・拍を感じるように効果音を入れるのは、どうかな。</li> </ul>		<p>創③ 反復、変化に着目しながら、旋律をどうつくるかについて、思いや意図をもって表現を工夫している。(行動観察)</p>
○曲構成図の鎌倉のマイテーマを確認して、次時の学習を知る。	5	・ワークシートに話し合っつてつくったマイテーマの旋律の順番、反復、速度を確認して、次時に練習や発表がしやすいようにする。

### (4) 板書計画

#### 鎌倉のマイテーマをつくらう

あらすじに出てくる順番で聴いて、旋律をつなげる参考にします

友だちのせんりつを聴く

せんりつを最後

せんりつ

続く感じ  
終わる感じ

効果音を入れる

入れる場所

言葉で解説する

ひき方を工夫する

音色

強弱

速度

あらすじに合うか    ひく人数？    ひきやすい速さ

#### 曲構成図 (模造紙)

鎌倉のマイテーマをつくらう ○班

あらすじ

基になる景色

効果音

基になる気持ち

せんりつ

説明文をつくる

○○○○○○○○  
 どんね無伴奏  
 つくった人

○○○○○○○○  
 どんね無伴奏  
 つくった人

○○○○○○○○  
 どんね無伴奏  
 つくった人

○○○○○○○○  
 どんね無伴奏  
 つくった人

見巻1    見巻2    見巻3    見巻4



## 6 本時の学習指導 (5/6時間目)

### (1) わらい

作品をつくり上げた過程を振り返りながら、思いや意図をもって発表したり、友だちの意図を感じ取って聴いたりすることができる。

(2) 準備 フラッシュカード、鎌倉の風景写真、箏の奏法の写真、ワークシート、CD、箏15面、爪（一人あたり2個ずつ）プロジェクター、「音楽づくりハンドブック」

### (3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
○常時活動で七五三リレーをする。 ○発表会に向けて、練習をする。 発問例 ・曲構成図などを見て、どんなことを話し合 って曲をつくってきたかを、振り返ろう。 ・速さや、強弱、音色など、テーマに合わせて て工夫できてるかな。	20	・箏で三、五、七弦を使って4拍の旋律をつくり、リレーで 旋律をつなげようとしながら、音楽づくりの活動に慣れる。 ・曲構成図を確認して、どんな順番で演奏するか、どんな演 奏する人数、速度が適切かを共通理解できるようにする。 ・あらすじに合わせて発表できるように、始まりの合図、発 表に必要な箏の数等、確認することを話し合って反復練習 をする。 ・「音楽のもと」から、速度、音色、強弱に着目して、練習で きるように、支援をする。
●発表会をする。(4グループ)  子どもの予想される反応 ・練習したことがうまくできたね。 ・練習したのに、うまくいかなかったよ。練 習の時より、速くなっちゃった。 ・○○のところ面白いね。 ・自分が特に工夫したところは、聴いている 人に伝わったかな。	20	・作品のあらすじを説明してから演奏を始めることで、思い や意図が伝えられるようにする。 ・友だちの意図を感じ取り、よさを認めるために、「よいアイ デア」「よいがんばり」について、言葉で伝える場面をつく る。 ・他のグループのあらすじを手がかりにして、その意図やよ さを感じ取ってワークシートに記述できるように、机間支 援する。 ・ワークシートで、グループで話し合っって作品をつくり上 げた過程を振り返って、発表でその成果が上げられたかにつ いて自己評価できるようにする。  関③ 作品をつくる活動のよさを振り返りながら、作品や言 葉で発表したり、聴いたりしている。(行動観察)  技② 音楽の仕組みを生かし、見通しをもって旋律をつくり、 グループ演奏をしている。(演奏観察)
○他グループのよさを認め合う。	5	・ワークシートの記述を基に、友だちの頑張りや表現の面白 さなどを発表して活動のよさを認め合えるようにする。

### (4) 板書計画

#### 箏で鎌倉のマイテーマをつくろう

マイテーマの種類

発表会

プログラム

- 1 ○班「曲名」
- 2 ○班「曲名」
- 3 ○班「曲名」
- 4 ○班「曲名」
- 5 ○班「曲名」
- 6 ○班「曲名」
- 7 ○班「曲名」

効果音

オリジナルの  
せんりつ

あらすじに合わせた発表をしよう

曲名と発表順を決めよう

使う箏の数

演奏の始まりの合図

「いいアイデア」の演奏を見つけよう

友だちの「がんばっているな」を見つけよう

6 本時の学習指導 (6/6時間目)

(1) ねらい

発表する立場と聴く立場から作品を仕上げる過程を振り返り、箏の音色を生かした鎌倉のマイテーマをつくり上げる過程の大切さを感じ取る。

(2) 準備 視聴用ビデオ、ワークシート3、箏15面、爪

(3) 展開

子どもの活動	分	指導上の留意点及び支援・評価
○常時活動で、七五三リレーをする。	5	・箏で三、五、七弦を使って4拍の旋律をつくり、リレーで旋律をつなげながら、速度や旋律のつながりを意識して、友達と合わせる大切さを感じ取れるようする。
○後半の発表会をする。(3グループ)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     予想される子どもの反応                      ・自分は、発表が前時に終わっちゃったけど友だちの作品についてどんな思いがあるかよく聴こう。                      ・自分が考えたことが演奏を聴いてもらってわかってもらえるとうれしいな。                 </div>	20	・発表を終えた子どもが思いや意図を伝えるよさや大変さを発表して、後半の発表会をする子どもへの助言ができるようにする。 ・前半の発表会と同じような形で発表をして、思いや意図が伝えられるようにする。 ・聴く立場と演奏する立場の両面から自己評価をして、作品をつくり上げた過程を振り返れるようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     創③ 友だちと意見交流をして、よりよい作品になるように、表現の工夫をしている。                      (演奏観察、ワークシート)                 </div>
●ビデオを抜粋して視聴して、活動を振り返る。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     発問例                      ・作品をまとめる時に、どんなことに気を付けたら、まとめやすかったかな。                      ・「音楽のもと」は、曲をつくっている材料みたいなものだってことに気付いたかな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     予想される子どもの反応                      ・協力して曲がつくれてよかった。                      ・音色などが曲の雰囲気をつくっているんだね。                 </div>	20	・事前に記録しておいた練習、話し合いのビデオを抜粋して視聴し、作品をつくり上げる過程を振り返るようにする。 ・作品をつくり上げる過程を振り返って、活動を円滑にするためにどんなことに気を付けてきたかを考え、学習過程の大切さや成就感を感じ取れるようにする。 ・「音楽のもと」に着目することが、音や音楽を見通しをもってつくったり、表現したりすることにつながることに気付いて、今後の表現活動に生かせるようにする。 ・ワークシートで自己評価や相互評価をして、作品をつくり上げる過程の大切さと、友だちと協力してつくった喜びを味わいながら「大切に作る心」を味わう。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     関② 演奏する立場と聴く立場の両方から、活動のよさを振り返ることができる。(ワークシート、行動観察)                 </div>

(4) 板書計画

(子ども用ワークシート3)

「箏で鎌倉のマイテーマをつくろう」3  
**活動を伝え合おう振り返ろう**

☆ 発表して感じたことをまとめよう。  
 演奏について (練習で考えたことと実際発表してみて感じたこと)

がんばれたところ  
 (グループでの話し合い、箏の演奏、音楽づくりなどについてくわしく書こう)

☆ 活動を振り返ってあてはまるところに○を付けよう。

	よくできた	できた	少しかつできた	できない
発表をして練習通りにできましたか。				
グループで協力して作品をつくりましたか。				
せんりつをつくるのに、音を入れ替えたり、リズムを考えたりしましたか。 友だちの意見を参考にしましたか。				
練習や発表を自分なりに一生懸命しましたか。				
箏の音や速さ、強弱を変えてみましたか。				

☆ 友だちの演奏をきいて、おもしろいと感じたところ・がんばっているところを見つけてみよう。

名前	内容

(板書)

**振り返りに考えること**



演奏のよさ	取組みのよさ
音の雰囲気	チームワーク
効果音のアイデア	一生懸命さ
せんりつのよさ	

⑩伝え合い ⑪認め合い ⑫振り返り  
 自己評価や相互評価を簡潔にまとめられるように、ワークシートを作成している




「活動の12ステップ」と児童用ワークシート1（1～2時使用）

「活動の12ステップ」による授業実践のために、「音楽づくりハンドブック」から、必要な内容を選択して、ワークシートを作成しました。

- ※  は、「活動の12ステップ」のステップと関連させた内容、  
 は、「音楽づくりハンドブック」の資料を活動した内容です。

**「箏で鎌倉のマイテーマをつくろう」 1**

1 箏ってどんな風に音を出すのかな？  
 どんな音がするのかな？  
 「汽車ごっこ」をきいて探ってみよう。



\* どんな汽車がどんな風に走っているのだろう。

\* 箏で音を出す方法を考えてみよう。

①感受  
聴く活動から奏法を探る

②発想  
自分なりの奏法のアイデアを考える

2 鎌倉の五つの景色について考えよう。

	どんな音がきこえてくるかな	そこでどんな気持ちが生まれるかな
まちなみ		
江ノ電		
海		
山道		
寺社		

「題材例資料」から  
箏の基本的な姿勢、奏法の画像を引用

①感受 ②発想  
マイテーマの音楽づくりの基になる鎌倉の景色から感じる「気持ち」「音」から、イメージを言葉でまとめる

「作品の作り方」から  
話し合いがうまくいくための留意点や子ども一人一人を見取り方などを参考に支援する

①感受 ②発想  
意見を出し合い、グループの話し合いをしながらイメージを膨らませていく

「活動の12ステップ」と児童用ワークシート2（3～4時使用）

※    は、「活動の12ステップ」のステップと関連させた内容、  
   は、「音楽づくりハンドブック」の資料を活動した内容です。

**「箏で鎌倉のマイテーマをつくろう」2**  
**街の音を箏でつくろう**

音の出し方

効果音を考えるもとなる景色

つくった効果音をカタカナで表してみよう。

どんな方法で音を出しただろう。次の時間の自分に説明してみよう。

**そこにいたら？の気持ちをせんりつにしよう。**

自分がせんりつをつくるもとなる気持ち

弦の番号を覚えよう  
 7弦中心にひくと、ひきやすいよ。

座り方  
 45度

右手の構え方  
 親指を救うように、弾いた後となりの弦では止めて！

左手で押し手  
 箏に対して斜め45度に座ろう。

**せんりつをつくるステップ**

拍子	4つひとまとまりで2小節＝つまりは8個の○に、まずは書く。
がくふ	まずは、○に音符を一つずつ、●にすると、そこは休符。
音符と休符	まずは、ひくと決めた弦の番号を書いていこう。今日はそれでOK！
リズム	○を半分にするとリズムは細かくなる。
速度	親指できちんと書にできる速さ？速くひくには、指先で軽くひく？
音階	なるべくとなりか近くの音へ移動しましょう。

**いっしょにつくるステップ** まずは二人組で、次は四人組できき合おう！

③即興 ⑧言葉  
 イメージに合わせて効果音をつくり、つくった音の特性を言葉で説明できるようにする

「題材例資料」から箏の基本的な姿勢、奏法の提示

「音楽のもと」発問例から発問例を引用

⑤構成  
 「音楽のもと」を基に旋律づくりをする

⑤構成 ⑥試行錯誤  
 記録しやすい記譜で考えた旋律を記録し、試行錯誤しながら、よりイメージに近い旋律をつくり上げる

話し合いに活用する曲構成図

**鎌倉のマイテーマをつくろう** ○班

あらすじ

基になる景色

効果音

説明文をつくる

基になる気持ち

せんりつ

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
どんな気持ち <input type="text"/>	どんな気持ち <input type="text"/>	どんな気持ち <input type="text"/>	どんな気持ち <input type="text"/>
つくった人 <input type="text"/>	つくった人 <input type="text"/>	つくった人 <input type="text"/>	つくった人 <input type="text"/>
児童1	児童2	児童3	児童4

⑥試行錯誤 ⑦意見交流  
 グループで一枚の模造紙でつくった曲構成図を中心に、話し合った内容を共有したり、記録したりしながらマイテーマを完成できるようにする